

「いまより悪くなる」ことを懸念する声、相次ぐ 市教委が通学バス制度統一で保護者と意見交換会

6月30日夕方、吉川小学校において、市教委と保護者側との間で通学バス制度統一についての意見交換会がありました。保護者側からの参加者は小中学校合わせて、わずか20人ほどでしたが、参加者からは意見がいくつも出て、活発な意見交換となりました。

市教委が合併協議に基づく合意事項や現在の通学バスの運行状況について説明した後、保護者の皆さんからは、「アンケート調査で市が全額負担すべきという声が多数となった場合、その準備の気持ちがあるか」「3キロ未満という

切り方をしないことを確認できて安心した」「負担はやむをえないと思うが、たいへんにならない配慮をしてほしい」「(いまの無料は)学校統合の条件であったことを重視して無料を続けてほしい。補助を出しているとか、援助しているという考え方はおかしい。通学距離が遠いからバスに乗っているだけだ」などの声が出ました。

今回の意見交換会は1回目、今後、地域協議会や議会でも結果を報告した後、2回目を行うことになっています。参加者からは意見交換会の開催日について「PTAがあるときとか、みんなが集まれる時に開いてほしい」と注文の声がありました。

吉川区の現行の通学バス制度は新上越市内でも最高水準なので、これを維持できるようにがんばりたいと思います。

なお、合併協議では、①平成21年度までの3年間は現行どおりとし、平成22年度から新基準(距離・補助率)を作成し、適用する。②補助対象距離は上越市に統一することとし、地域事情を考慮した教育長の判断による特例を認める、などとなっています。



【オカトラノオ】夏が来るよと教えてくれる花です。小さな花がいっぱいついていて、花が垂れ下がっている様子はまさにトラのしっぽです。吉川区内ではどこでも見られます。写真は原之町地内にて6月28日撮影。



真相究明のため議会は汗をかけ 直江津図書館等整備で緊急議会報告会

日本共産党議員団は3日、高田と直江津地区で緊急議会報告会を開催しました。このうち、高田の会場では平日の昼にもかかわらず50人を超える市民の皆さんから参加していただきました。

上野市議の報告の後、たくさんの方から、「図書館は文化の核だ。そういうことを前面に出して考えてほしい」「相手の言いなりになってほしくない」「この本質は日本政策投資銀行の利益確保だ。もう一回継続審査とすべきではないか」などのご意見、質問が寄せられました。参加者の多くはもっと時間をかけて丁寧に説明すること、慎重にことを進めてほしいと思っていることがわかりました。

議員や議会に対して厳しい意見が出たのも特徴のひとつです。「いろいろな疑問については、議会は議決機関として真相を究明するために参考人招致などをやり汗をかくべき」「自治基本条例を尊重し、議員は住民の声をもっと聞いて」などです。当然のことです。

議員や議会に対して厳しい意見が出たのも特徴のひとつです。「いろいろな疑問については、議会は議決機関として真相を究明するために参考人招致などをやり汗をかくべき」「自治基本条例を尊重し、議員は住民の声をもっと聞いて」などです。当然のことです。



NO 1353
2008.7.6

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪法一
TEL 548-3628 (有線) 4867
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL http://www.hose1.jp/